

事業報告書（研究・開発支援系専門部会、2025年度研究開発支援講座）

事業名称	2025年度研究開発支援ゼミ	開催日	2025年10月7日
開催場所	ハイブリッド開催（Zoom+現地会場） 会場：聖隷クリストファー大学	開催時間	19:00～20:30
参加者	会員：10名		

【活動内容】

2025年度研究開発支援ゼミは「臨床疑問をどう研究に変えるか？～臨床研究の“はじめの一步”～」をテーマに開催し、今回は会員10名にご参加いただいた。

講師の芦澤遼太先生より、「臨床研究の意義と“はじめの一步”を踏み出すための思考と行動」についてご講義いただき、続いて「研究は文献検索から？PubMedとAIを使った文献検索の実践」として、AIを活用した文献検索の演習を行っていただいた。

講義と演習の理解度および満足度はいずれも高く、内容のわかりやすさや具体的な知識の獲得につながった点が高評価の理由であった。受講者からは以下の感想が寄せられた。

- ・「初心者向けに説明して下さったので大変わかりやすかった」
- ・「研究のはじめ方ややり方などを幅広く教えていただいた」
- ・「研究を行う上で必要な考え方の再認識が行えた」
- ・「研究をはじめするための気持ちができる」
- ・「今まで莫大な数の論文から良い論文かわからなかったが、検索方法を学び大変勉強になった」
- ・「日々の疑問を言語化し、文献検索につなげることの重要性を知れた」

芦澤先生ご自身の研究や後輩指導の経験に基づく、研究意欲を高める講義、AIを用いた英語論文の文献検索・抄読の実践演習は、初学者のみならず経験者の受講者にとっても有意義であった。近年のAIを活用した論文検索や研究に関心の高い受講者からは、AIの具体的な機能に関する詳細な解説を求める声もあり、臨床業務と並行して研究を進める上でその必要性が確認された。このほか、統計学などの基礎的な知識の補強や研究段階に応じた継続支援、情報提供と交流の場の整備を求める意見が寄せられた。今後はこれらの要望を踏まえた支援体制を構築し、研究活動の促進につなげたい。

【活動風景】

